

【短報】三重県におけるニセコクロヒラタガムシの初記録

ニセコクロヒラタガムシ *Chasmogenus orbis* (Watanabe, 1987) は、国内では北海道、青森県、群馬県、栃木県、静岡県、滋賀県から記録されているガムシ科の一種である (Watanabe, 1987; 中根, 1993; 静岡県環境森林部自然保護室, 2005; 北野・菊部, 2012; 大川, 2012; 岡田, 2015)。筆者らは、三重県初記録となる本種を採集しているので報告する。なお、同定は雄交尾器の確認により行った。

1♂2♀♀, 三重県志摩市大王町船越 船越池, 1. XI. 2012, 佐野採集・保管; 10exs., 同所, 26. VIII. 2013, 北野採集・保管; 20exs., 同所, 15. VIII. 2016, 渡部採集・保管 (うち 5exs. は蓑島悠介博士保管) (図 1)。



図1. 三重県産ニセコクロヒラタガムシ。

採集した環境は、ヨシなどの抽水植物の枯死体が堆積した浅瀬、抽水植物が繁茂した浮き島状の湿地であり、特に後者からは多数の個体が確認された。この湿地は、見た目上はほぼ水がないような状態であったが、湿地を足で踏んだ際にできた足跡の中に周囲の植

生から水が染み出し、水とともに流された本種が足跡の中に集まった。現地では採集した個体以外にも多数の個体が見られ、個体数は多いものと推測される。

末筆ではあるが、同定結果の確認をしていた北九州市立自然史・歴史博物館の蓑島悠介博士にお礼申し上げる。

引用文献

- 北野 忠・菊部治紀, 2012. 滋賀県でニセコクロヒラタガムシを採集. 月刊むし, (496): 46.
 中根猛彦, 1993. 北日本のガムシ数種の記録. 昆虫と自然, 28 (9): 23.
 大川秀雄, 2012. 渡良瀬遊水池におけるニセコクロヒラタガムシ・ヘリトゲコブスジコガネ・*Microchaetes* 属 (マルトゲムシ科) 一種の記録. インセクト, 63 (2): 111-112.
 岡田亮平, 2015. 北海道におけるニセコクロヒラタガムシの記録. さやばねニューシリーズ, (20): 47.
 静岡県環境森林部自然保護室, 2005. 静岡県野生生物目録. 198pp. 静岡県環境森林部自然保護室.
 Watanabe, N., 1987. The Japanese species of *Helochares*

(*Crepelochares*) (Coleoptera: Hydrophilidae), with description of a new species from Honshu. Aquatic Insects, 9 (1):11-15.

(渡部晃平 920-2113 白山市八幡町戊3番地 石川県ふれあい昆虫館)

(北野 忠 259-1206 平塚市真田1-8-1)

(佐野真吾 239-0813 横須賀市鴨居4-1120 観音崎自然博物館)

(菊部治紀 250-0031 小田原市入生田499 神奈川県立生命の星・地球博物館)

(秋田勝己 514-1136 津市久居東鷹跡町170-2)

【短報】甌島列島上甌島未記録のカミキリムシ科3種の記録

鹿児島県甌島列島は下甌島 (66.9 km²), 中甌島 (0.545 km²), 上甌島 (44.46 km²) の主要3島 (木本, 1991) と多数の小島から構成されている。そのうち、最も大きい下甌島の調査はよく行われ、これまでカミキリムシは84種の記録がある (森, 1988; 岡田, 2010; 大林, 2013)。これに比べて面積も下甌島の2/3程度と比較的小さな上甌島は調査があまり行われてこなかったせいか、わずか17種と少ない (森, 1988; 岡田, 2010)。

最近、筆者らは2017年4月下旬に青木淳一博士によって上甌島で採集されたカミキリムシ3種

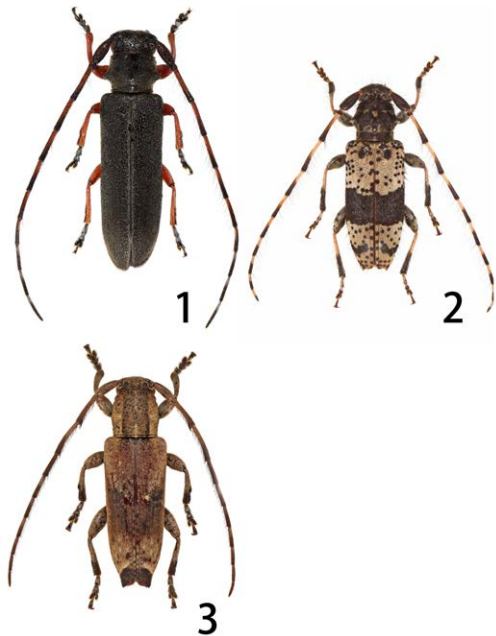


図1-3. 上甌島初記録のカミキリムシ. 1, キクスイモドキカミキリ; 2, ヒトオビアラゲカミキリ; 3, コゲチャサビカミキリ。

を検する機会に恵まれた。これら3種とも既に下甌島からは記録されているものの、上甌島からは未記録であるため、ここに報告する。

1. キクスイモドキカミキリ *Asaperda rufipes* Bates, 1873 (図1)
1♀, 上甌島里, 23. IV. 2017, 青木淳一採集.
2. ヒトオビアラゲカミキリ *Rhopaloscelis unifasciata* Blessig, 1871 (図2)
1♀, 上甌島里, 23. IV. 2017, 青木淳一採集.
3. コゲチャサビカミキリ *Mimectatina meridiana ohirai* Breuning et Villiers, 1973 (図3)
1♀, 上甌島里, 23. IV. 2017, 青木淳一採集.

末筆ながら、貴重な標本を恵与された青木淳一博士(東京都港区)に厚くお礼を申し上げる。なお、すべての検視標本は(国研)農研機構・農業環境変動研究センター(茨城県つくば市)の昆虫標本館に保管されている。

引用文献

- 木本修二, 1991. 離島めぐり 15万キロ. 243 pp., 古今書院, 東京.
森 一規, 1988. 鹿児島県産カミキリムシ分布表. SATSUMA, 37(100): 119-148.
岡田裕之, 2010. 鹿児島県上甌島で採集したカミキリムシ. 月刊むし, (467): 43-44.
大林延夫, 2013. 下甌島のカミキリムシ. さやばねニューシリーズ, (11): 30-31.

- (榎原 寛 298-0002 いすみ市日在 2033-5)
(吉武 啓 305-8604 つくば市観音台 3-1-3
国立研究開発法人農研機構
農業環境変動研究センター)

【短報】群馬県でツブスジドロムシを採集

ツブスジドロムシ *Paramacronychus granulatus* Nomura, 1958 (図1) は, 本州, 四国, 九州, 屋久島から知られるヒメドロムシ科の水生甲虫である(佐藤, 1985; 中島, 2013; 小川, 2013; Ogawa, 2013; 堤内, 2015). 関東地方ではこれまで栃木県と茨城県から報告されている(高野・大桃, 2000; 栃木県自然環境調査研究会昆虫部会, 2003 ほか). 筆者らは群馬県で本種の分布を初めて確認したので報告する。

2exs., 群馬県みなかみ市藤原 木の根沢支流(図2), 1. VIII. 2017.

生息地の環境は, 溪流の背で長径 10-30 cm ほどの亜円礫~亜角礫が堆積していた。水深は 10-20



図1. ツブスジドロムシ♂.



図2. 生息地の環境.

cm ほどで, 長靴で採集できる程度である。

同時に確認されたヒメドロムシ科としては, ツヤヒメドロムシ *Optioservus nitidus* Nomura, 1958, クロサワドロムシ *Neoriohelmis kurosawai* Nomura, 1958, アカツヤドロムシ *Zaitzevia rufa* Nomura et Baba, 1961 が各1頭採集され, 全体に生息する個体数は非常に少なかった。群馬県でのアカツヤドロムシの記録は, 上手・疋田(2010)に次いで2例目である。

群馬県のヒメドロムシ科はこれまでに19種が記録されており(茶珍, 2015), 本種の確認により20種となった。筆者らは群馬県内の河川で水生甲虫類の分布調査を行っているが, 本種はこれまで採集したことがなく, 県内では非常に少ない種であると思われる。

引用文献

- 茶珍 護, 2015. 群馬県産流水性甲虫類の分布記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (18): 231-249.
上手雄貴・疋田直之, 2010. 群馬県におけるアカツヤドロムシの記録. 甲虫ニュース, (169): 6.
中島 淳, 2013. 四国・愛媛県におけるツブスジドロムシの採集記録. さやばねニューシリーズ, (9): 36.
佐藤正孝, 1985. ヒメドロムシ科 Elmidae. 上野俊一・黒澤良彦・佐藤正孝編著 原色日本甲虫図鑑 II: 434-440, pl. 34-35.